

納め方も選べて便利！

①金融機関、郵便局、コンビニの窓口、ATMでの納付

日本年金機構からお送りしている納付書を使って、各窓口で納める方法です。

②電子納付

インターネットバンキング、モバイルバンキング、テレフォンバンキングで納める方法です。

③口座振替

口座振替で納めると手間がかからず、納め忘れを防ぐことができます。

④クレジットカード納付

クレジットカードにより定期的に納める方法です。

※過去の納め忘れの保険料については、①または②の方法をご利用ください。



保険料が割引されてお得！

●まとめて前払い（前納）すると、保険料が割引されます。

例) 口座振替をご利用いただいた場合、令和2年度保険料額で

2年前納 ⇒ **2年で 15,840円**の割引

1年前納 ⇒ **1年で 4,160円**の割引 となります。

参考：令和2年度における1ヵ月の国民年金保険料額 16,540円



国民年金は終身保障などの利点があります！

	国民年金	民間の個人年金
加 入	・ 国民の義務として日本に居住する20歳～60歳のすべての人が加入	・ 個人が自由意思で加入
給付の特徴	・ 物価の上昇などに合わせて給付額が引き上げられ、将来に渡って実質的な価値を保障 ・ 給付は終身、一定限度額で非課税	・ 自分が積み立てた保険料およびその運用益の範囲で給付 ・ 基本的には給付は有期、課税対象
給付の種類	・ 老齢、障害、死亡（遺族）の全てをカバー	・ 各個人が選択した種類のリスクをカバー
運 営	・ 国により運営されており、基礎年金支給額1/2と運営事務に要する費用の多くを国が負担	・ 民間の保険会社が加入者から集めた保険料により、自社の経営に必要な諸経費も含めて運営
負担の減免	・ 支払った保険料の全額が、所得から控除 ・ 生活が苦しい場合には、一定の条件で保険料を免除	・ 支払った保険料は、一定額まで所得から控除

